

災害福祉学の構築に向けて

副田あけみ（関東学院大学）

日本社会福祉学会副会長/日本社会福祉系学会連合会長

日本社会福祉学会の会員のみならず、日本社会福祉系学会連合という組織をご存じでしょうか。すでにご承知の方もいらっしゃると思いますが、連合は、日本社会福祉学会を初めとする社会福祉学系学会 20 団体で構成するネットワーク型組織で、日本学術会議社会学委員会社会福祉学分会への協力、日本の社会福祉系学会間の交流と連携の促進を主な役割としています。

本日は、その会長という立場から、連合が行ってきましたシンポジウムと災害福祉研究・災害福祉学の構築について少しお話しさせていただきます。

連合では、2011 年の東日本大震災以前は、加盟学会の活動状況や課題を報告し合うシンポジウムを行っていました。震災後は、連合の前会長であった野口定久先生と地域福祉学会の都築光一先生のイニシアティブによって、被災地における調査が行われ、2012 年と 2013 年にはその報告を含めた災害福祉に関するシンポジウムが計 7 回開催されています。

加盟学会の多くの会員が、被災者や被災地の支援活動や調査研究に関与されてきました。今も継続して関わっておられる方々が少なからずいらっしゃると思います。連合では、そうした支援活動に関する情報や調査研究の成果をベースに、一つの体系的なまとまりをもった災害福祉研究、あるいは、災害福祉学の構築を目指してはどうかと考え、2013 年 11 月に、「災害福祉研究における社会福祉系学会の役割～研究活動を通して～」、2014 年 9 月に、「災害福祉学の構築に向けて—社会的孤立の防止と自立支援—」というタイトルでシンポジウムを実施しました。今年度は、10 月 17 日に東洋大学において、公開研究会「災害福祉学の構築—支援者支援を考える—」を開催いたします。

災害福祉研究や災害福祉学といった研究ジャンルが成立し、研究が体系的に蓄積されていくなれば、過去の災害における類似のテーマに関する研究を、また、他地域や他国の類似の災害研究をレビューし、比較検討を行うことが容易になるはずです。また、そうした作業の継続を通して、災害時の生活支援や地域支援のための複数のモデルが作成されていくなれば、新しく発生した災害時にそれらを役立てる、新たに必要な法制度やサービス、支援の仕組み等を提言する、といったことができるのではないのでしょうか。

実は、災害福祉研究や災害福祉学構築の試みは、すでに西尾祐吾先生たちが、『災害福祉とは何か—生活支援体制の構築に向けて—』（ミネルヴァ書房、2010 年）において行っています。本書では、＜理論編＞として、(1)災害福祉の概念定義、(2)災害時要援護者の状況と課題、(3)災害と救援の歴史、施策、(4)災害支援に関する法と行政組織の課題が、＜実践編＞として、(5)災害支援の方法・技術、(6)災害発生時の救護、(7)防災・減災の地域ネットワーク、(8)復興と生活再建、(9)災害における家族とストレス、家族支援、(10)災害支援ボランティア活動の意義と課題、(11) 特別なニーズのある人々への支援、(12)福祉施設における防災支援が、＜提言編＞として(13)防災・減災のための仕組みづくり、(14)学校における防災教育、(15)防災ネットワークの構築が取り上げられています。

日本社会福祉学会の秋季大会では、2012 年から毎年、「震災・災害福祉」の分会が設置され、2014 年までに 27 本の自由発表が行われています。無謀であることを承知で、これら

の研究タイトルが上記の(1)から(14)までの研究テーマのどれに該当するか、無理やり当てはめてみると、約 6 割はそのどれかに分類できました。該当しない 4 割は、福島原発事故による避難がもたらす諸問題、災害時対応の国際比較、中間支援組織、被災者のエンパワメント形成、といったものでした。新たな災害の発生や新たな研究視点の導入が、新しい研究テーマを創りだしていくということでしょう。

災害福祉研究や災害福祉学の構築・発展のためには、幅広い多様なテーマを相互に関連づけながら、また、それぞれのテーマごとに過去の研究や他地域の研究を比較検討しながら、息長く研究していくことが必要と考えます。連合の役割は、社会福祉学会を初めとする加盟学会の会員による災害福祉研究を支援していくことであり、連合が、災害福祉に関するシンポジウムを継続してきたのも、2013 年に災害福祉アーカイブ事業を創設し充実に努めているのもそのためです。アーカイブ事業へのご協力も、どうぞよろしくお願いいたします。

日本社会福祉系学会連合のホームページ：<http://jaswas.wdc-jp.com/>

連合への連絡先：union-jssw@kokusaibunken.jp